

# バージョンアップガイド (Ver.7.1→Ver.8)

BLUETREND XA Ver.7.1 から Ver.8 への  
バージョンアップ内容をご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である  
場合があります。ご了承ください。



# 目次

# バージョンアップガイド BLUETREND XA (Ver.7.1→Ver.8)

## 1 現場管理 P.1

- 1- 1 現場のバックアップの拡張 \_\_\_\_\_ 1
- 1- 2 現場リスト表示 \_\_\_\_\_ 1

## 2 メイン・共通 P.2

- 2- 1 条件設定に「武蔵設定」追加 \_\_\_\_\_ 2
- 2- 2 セルの読み上げの音声機能改良 \_\_\_\_\_ 3

## 3 CAD P.4

- 3- 1 AutoCAD2018に対応 \_\_\_\_\_ 4
- 3- 2 [円弧]–[3点弧(外接)]改良 \_\_\_\_\_ 5
- 3- 3 マーク入力改良 \_\_\_\_\_ 6
- 3- 4 GeoTiff配置の緯度経度対応 \_\_\_\_\_ 7
- 3- 5 シンボルの地図記号追加 \_\_\_\_\_ 7
- 3- 6 ラスタ部分編集時の円形指定方法の拡張 \_\_\_\_\_ 8

## 4 各階平面図 P.9

- 4- 1 建物の構造の入力改良 \_\_\_\_\_ 9

## 5 トラバース計算 P.10

- 5- 1 観測データの初期設定の改良 \_\_\_\_\_ 10

## 6 縦横断測量 P.11

- 6- 1 [横断測量]–[電子野帳データ一括取込み]の改良 11

# 1 現場管理

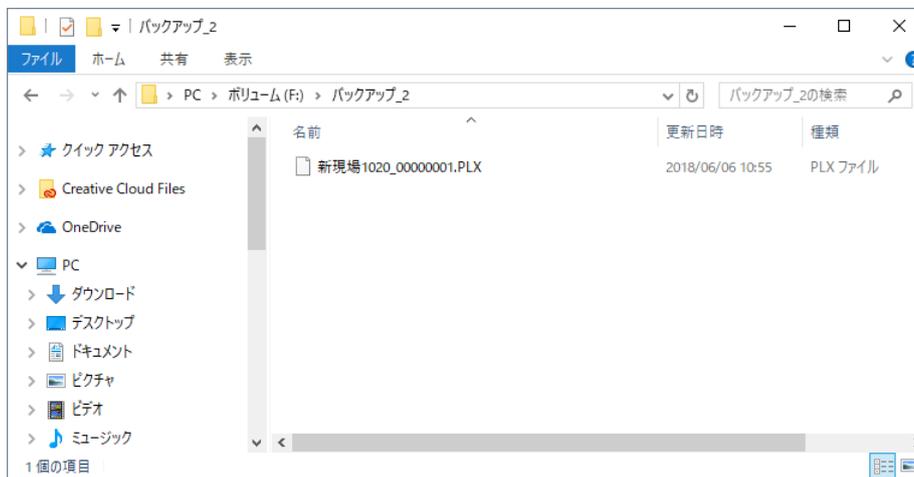
現場管理の新機能をご紹介します。

## 1-1 現場のバックアップの拡張

データサイズの大きい現場もバックアップできるようになりました。  
現場データのファイルサイズが4GBを超える場合でもバックアップできます。

また、この変更に伴い拡張子も変更しました。

- バックアップ拡張子  
ローカル:PLX  
サーバー:PSX



## 1-2 現場リスト表示

現場プロットのサムネイル取得処理を改良し、現場リスト表示の高速化を図りました。

# 2 メイン・共通

メイン・共通の新機能をご紹介します。

## 2-1 条件設定に[武蔵設定]追加

条件設定で[武蔵設定]を追加しました。

[武蔵設定]を選択することにより、表示座標・登録座標・計算座標：6桁、地盤高：3桁に設定されますので、i-Construction業務などで武蔵の計算設定の初期値と同じ条件で計算できます。

条件設定 - [No.1]: 出荷時設定

開いた作業データの設定をメイン・座標地番管理に引き継ぐ(S)  補助機能で使用する条件を個別に設定(O)

新規作業データの個別指定(O)

基本1 | 基本2 | 共通 | 固有

メイン・座標地番管理

太字の項目名はアプリケーションが使用している条件です。  
太字でない項目は動込み交点計算等が使用している条件です。  
作業データ単位で保持します。

座標

表示座標の丸め(1): 4捨5入 | 1単位 | 3桁

登録座標の丸め(2): 4捨5入 | 1単位 | 3桁

計算座標の丸め(3): 4捨5入 | 1単位 | 3桁

Z座標の丸め(4): 4捨5入 | 1単位 | 3桁

距離・角度

距離の丸め(5): 4捨5入 | 1単位 | 3桁

地番辺長の丸め(6): 4捨5入 | 1単位 | 3桁

角度の丸め(7): 1秒

角度の表示方法(A): ○-○-○

面積

倍面積の丸め(8): 4捨5入 | 1単位 | 6桁

面積の丸め(9): 4捨5入 | 1単位 | 7桁

ha(ヘクタール)の丸め(10): 4捨5入 | 1単位 | 3桁

新規現場データ時に、条件設定ダイアログを表示(D)

読み込み(B)... 書き込み(W)... データ転送(O)... 印刷(P)... OK キャンセル

読み込み - 条件設定

全体 | アプリケーション

No	初期値	条件名
1		出荷時設定
2		座標2桁・面積6桁
3		座標2桁・面積6桁・自動三料
4		登録・計算座標真数
5		登録・計算座標真数・自動三料
6		三料切り捨て2桁
7		登録・計算座標真数・地番辺長切り捨て3桁
8		武蔵設定

新規現場の初期条件として使用する(S)

OK キャンセル

条件設定 - [No.8]: 武蔵設定

開いた作業データの設定をメイン・座標地番管理に引き継ぐ(S)  補助機能で使用する条件を個別に設定(O)

新規作業データの個別指定(O)

基本1 | 基本2 | 共通 | 固有

メイン・座標地番管理

太字の項目名はアプリケーションが使用している条件です。  
太字でない項目は動込み交点計算等が使用している条件です。  
作業データ単位で保持します。

座標

表示座標の丸め(1): 4捨5入 | 1単位 | 6桁

登録座標の丸め(2): 4捨5入 | 1単位 | 6桁

計算座標の丸め(3): 4捨5入 | 1単位 | 6桁

Z座標の丸め(4): 4捨5入 | 1単位 | 3桁

距離・角度

距離の丸め(5): 4捨5入 | 1単位 | 3桁

地番辺長の丸め(6): 4捨5入 | 1単位 | 3桁

角度の丸め(7): 1秒

条件設定 - [No.8]: 武蔵設定

開いた作業データの設定をメイン・座標地番管理に引き継ぐ(S)  補助機能で使用する条件を個別に設定(O)

新規作業データの個別指定(O)

基本1 | 基本2 | 共通 | 固有

メイン・座標地番管理

固有なアプリケーションが使用する条件です。  
作業データ単位で保持します。

面積調整(1)

大きくする  小さくする

小数以下桁数(2): 2桁

その他丸め

精度の丸め(3): 4捨5入 | 1単位 | 3桁

地盤高の丸め(4): 4捨5入 | 1単位 | 3桁

計曲高の丸め(5): 4捨5入 | 1単位 | 3桁

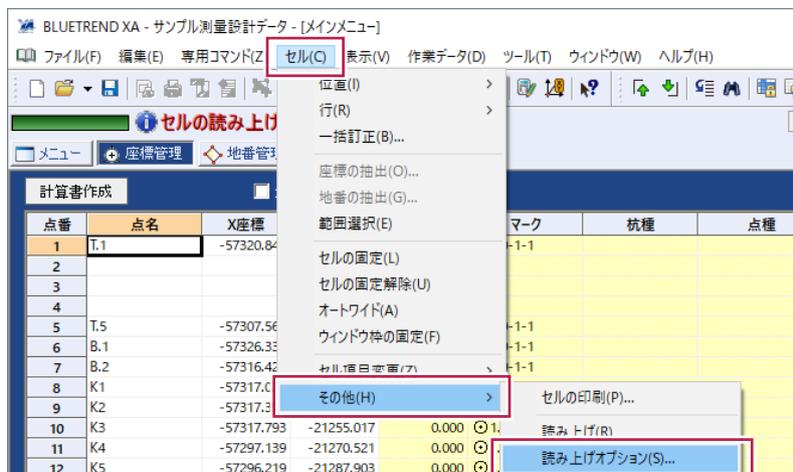
勾配の丸め(6): 4捨5入 | 1単位 | 2桁

Ts/Tdの高低差計算の丸め(7): 4捨5入 | 1単位 | 3桁

IA計算の丸め(8): 真数

## 2-2 セルの読み上げの音声機能改良

数字の棒読み・英単語のアルファベット読み・句読点読み機能を追加しました。  
[セル]－[その他]－[読み上げオプション]で選択できます。

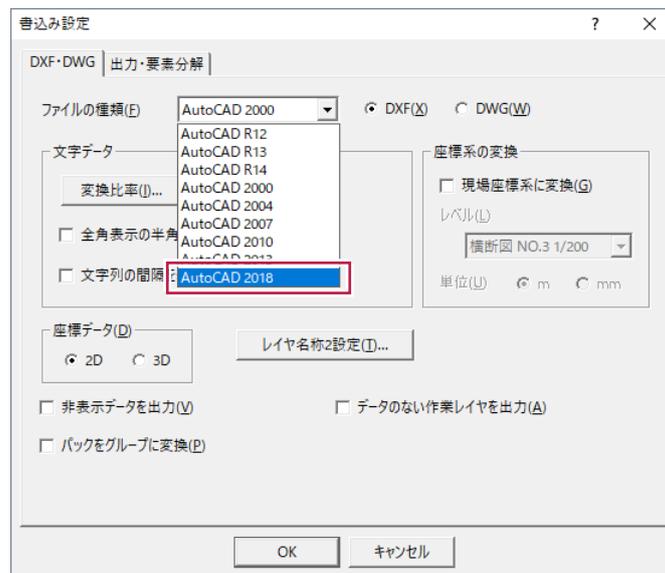


# 3 CAD

CADの新機能をご紹介します。

## 3-1 AutoCAD2018 に対応

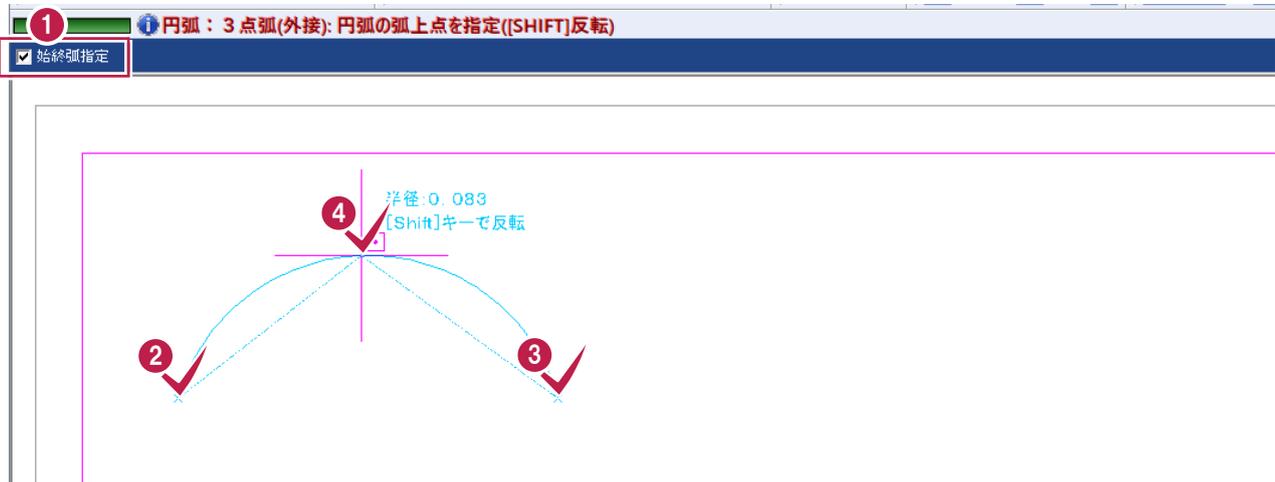
AutoCAD2018のファイル形式が入出力できるようになりました。  
最新のAutoCAD2019のデータも読み込み可能です。



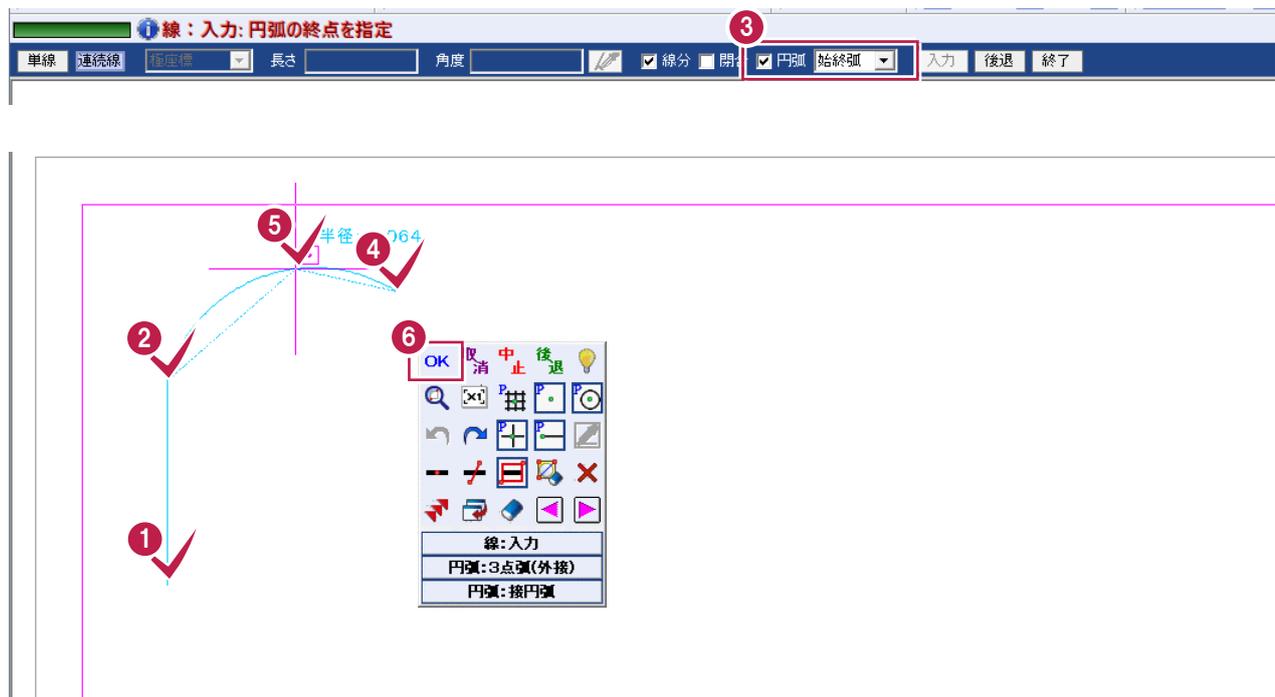
## 3-2 [円弧]—[3点弧(外接)]改良

[汎用]—[円弧]—[3点弧(外接)]の1,2点目で弧の始点終点を指定し、3点目を始終点間の弧状の1点を指定して入力できるようになりました。

[始終弧指定]のチェックはオンにして入力してください。



線の入力時も[始終弧]を選択することで同様に入力できます。



### 3-3 マーク入力改良

マーク入力の際に現場プロットを背景に表示できるようになりました。

マーク・点：マーク入力: 配置位置を指定

マーク  Z座標  m 中心のペン  Pen 1 サイズ 1.0 mm 回転角 0.0000  マスク 座標 背面プロット  点番・点名配置

$Y_{n+1} - Y_{n-1}$	$X_n \cdot (Y_{n+1} - Y_{n-1})$
9.080	-880915.999280
8.872	-810551.490752
-9.080	820838.849840
-8.872	810508.182784
合計	-122.829808
計面積	81.9118040
地積	81.91 m <sup>2</sup>

$Y_{n+1} - Y_{n-1}$	$X_n \cdot (Y_{n+1} - Y_{n-1})$
9.898	-887459.288188
7.227	-881930.722591
-9.898	887975.811824
-7.227	881283.747091
合計	-130.849844
計面積	85.9249220
地積	85.92 m <sup>2</sup>

$Y_{n+1} - Y_{n-1}$	$X_n \cdot (Y_{n+1} - Y_{n-1})$
-9.709	888454.405097
-12.191	1115992.509558
-2.014	184901.152084
19.971	-1229719.985180

マーク・点：マーク入力: 配置位置を指定

マーク  Z座標  m 中心のペン  Pen 1 サイズ 1.0 mm 回転角 0.0000  マスク 座標 **背面プロット**  点番・点名配置

$Y_{n+1} - Y_{n-1}$	$X_n \cdot (Y_{n+1} - Y_{n-1})$
9.080	-880915.999280
8.872	-810551.490752
-9.080	820838.849840
-8.872	810508.182784
合計	-122.829808
計面積	81.9118040
地積	81.91 m <sup>2</sup>

$Y_{n+1} - Y_{n-1}$	$X_n \cdot (Y_{n+1} - Y_{n-1})$
9.898	-887459.288188
7.227	-881930.722591
-9.898	887975.811824
-7.227	881283.747091
合計	-130.849844
計面積	85.9249220
地積	85.92 m <sup>2</sup>

$Y_{n+1} - Y_{n-1}$	$X_n \cdot (Y_{n+1} - Y_{n-1})$
-9.709	888454.405097
-12.191	1115992.509558
-2.014	184901.152084
19.971	-1229719.985180

[設定]で[座標・地番表示設定]ウィンドウが表示され、配置レベルや表示色が選択できます

座標 背面プロット  点番・点名配置

座標データ  地番データ  設定...

座標・地番表示設定

配置レベル(L)  表示色(C)

座標データを表示(O)

表示  点番(N)  点名(F)  文字サイズ(S)  ドット

マーク  座標管理優先(D)  マークを指定(M)  先頭点番(B)  末尾点番(E)  地番名ワイルドカード(A)  先頭地番(I)  末尾地番(H)

種類(L)  サイズ(J)  mm

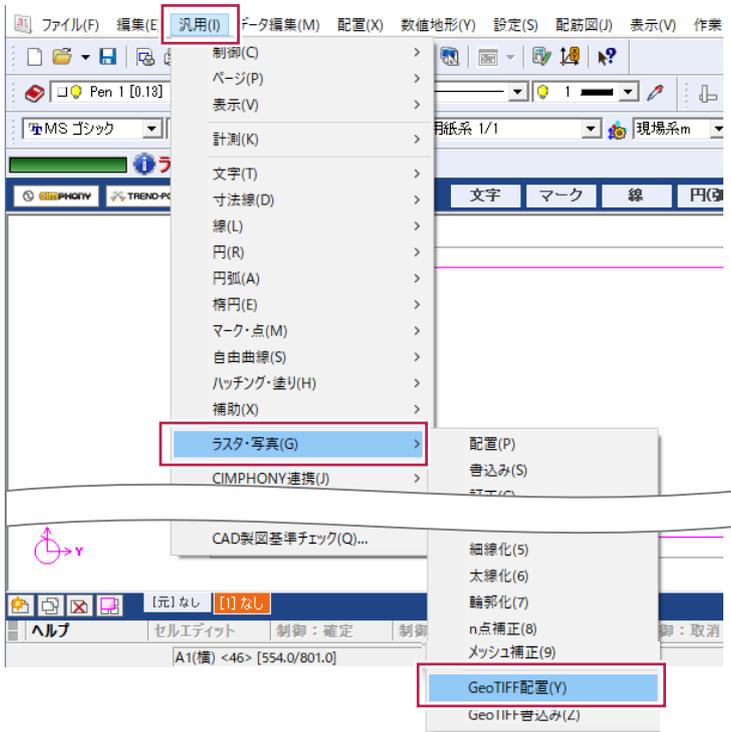
地番データを表示(O)

表示  地番No(P)  地番名(W)  文字サイズ(B)  mm  地番名ワイルドカード(N)  先頭地番(I)  末尾地番(U)

OK キャンセル

## 3-4 GeoTiff 配置の緯度経度対応

[汎用]－[ラスタ・写真]グループ－[GeoTIFF]－[配置]で、緯度経度で作成されたGeoTiffが取り込めるようになりました。座標変換を行います。



以下のコマンドも対象です。

・[路線測量]の[路線計画]－[ラスタデータ]－[GeoTIFF配置]

## 3-5 シンボルの地図記号追加

外国人向け地図記号 (観光案内所) を追加しました。

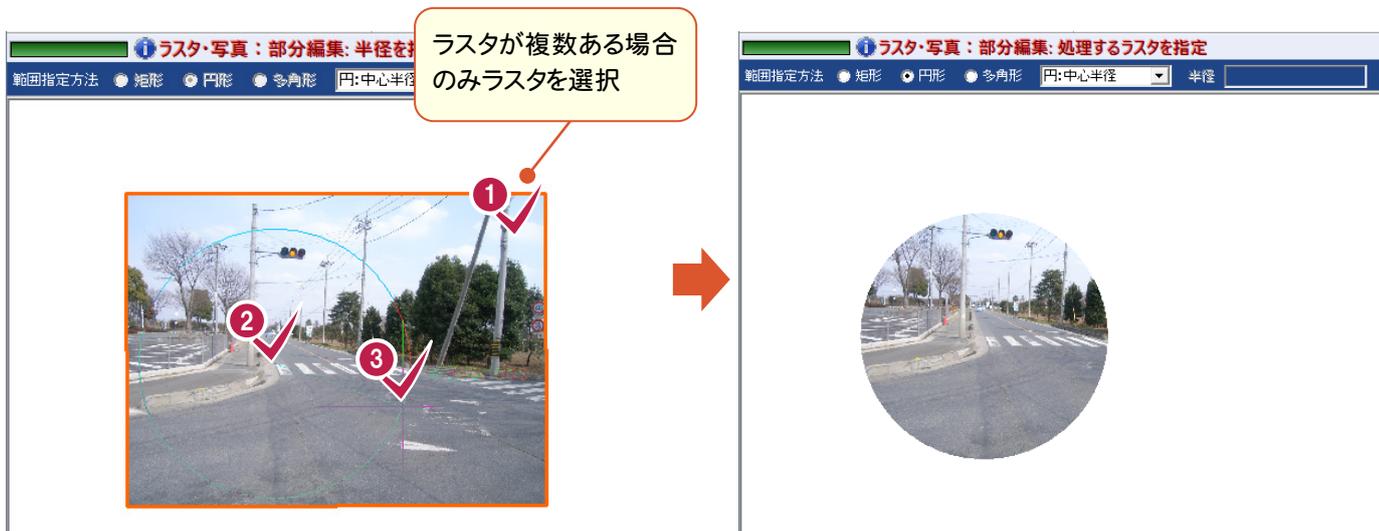


## 3-6 ラスタ部分編集時の円形指定方法の拡張

[汎用]-[ラスタ・写真]-[部分編集]の編集範囲の指定方法として「中心半径」を追加しました。  
円・楕円による範囲指定時に中心を基点に半径指定で編集ができます。



### ■範囲外削除の場合



# 4 各階平面図

各階平面図の新機能をご紹介します。

## 4-1 建物の構造の入力改良

TREND REGICと同じようなデータ形式にし、入力しやすくなりました。これにより、TREND REGICへの「建物の構造」の連携も強化されます。

建物 - 設定

建物タイプ(B)  
 主建物  附属建物  
附属符号(N) [ 1 ]

建物の種類(K) [ ]

建物の構造(U) [ ] **編集**

原因及びその日付(C) [ ] <<

OK キャンセル



構造

建物の構造(K) [ ]

建物の構造  
定型文字(F) < 定型文字を選択してください > ▲追加(A)

屋根(B) [ ]

構造(S) [ ]

- 木造
- 石造
- れんが造
- コンクリートブロック造
- 鉄骨造
- 鉄筋コンクリート造
- 鉄骨鉄筋コンクリート造
- 木骨石造
- 木骨れんが造
- 軽鉄骨造
- 鉄骨・木造
- 鉄骨・コンクリートブロック造
- 鉄骨・鉄筋コンクリート造
- 軽鉄骨・木造
- 軽鉄骨・コンクリートブロック造
- 軽鉄骨・鉄筋コンクリート造



[追加]をクリックした状態

構造

建物の構造(K) [ 木造 ]

建物の構造  
定型文字(F) [ 木造 ] ▲追加(A)

屋根(B) [ ]

構造(S) [ ]

- かわらぶき
- 亜鉛メッキ鋼板ぶき
- 草ぶき
- 陸屋根
- セメントかわらぶき
- アルミニウム板ぶき
- 板ぶき
- 杉皮ぶき
- 石板ぶき
- 銅板ぶき
- ルーフィングぶき
- ビニール板ぶき
- 合金メッキ鋼板ぶき
- コンクリート屋根
- 空気膜屋根
- 瓦葺
- スレート葺
- 亜鉛メッキ鋼板葺
- 草葺
- セメント屋根
- アルミニウム板葺
- 板葺
- 杉皮葺
- 石板葺
- 銅板葺
- ルーフィング葺
- ビニール板葺
- コンクリート板葺
- ステンレス鋼板葺
- ガラス板葺
- 銅板葺



構造

建物の構造(K) [ 木造 ]

建物の構造  
定型文字(F) [ 木造 ] ▲追加(A)

屋根(B) [ ]

構造(S) [ 木造 ]

OK キャンセル



構造

建物の構造(K) [ 木造 ]

建物の構造  
定型文字(F) [ 木造 ] ▲追加(A)

屋根(B) [ かわらぶき ]

構造(S) [ 木造かわらぶき ]

OK キャンセル



建物 - 設定

建物タイプ(B)  
 主建物  附属建物  
附属符号(N) [ 1 ]

建物の種類(K) [ ]

建物の構造(U) [ 木造かわらぶき ] **編集**

原因及びその日付(C) [ ] <<

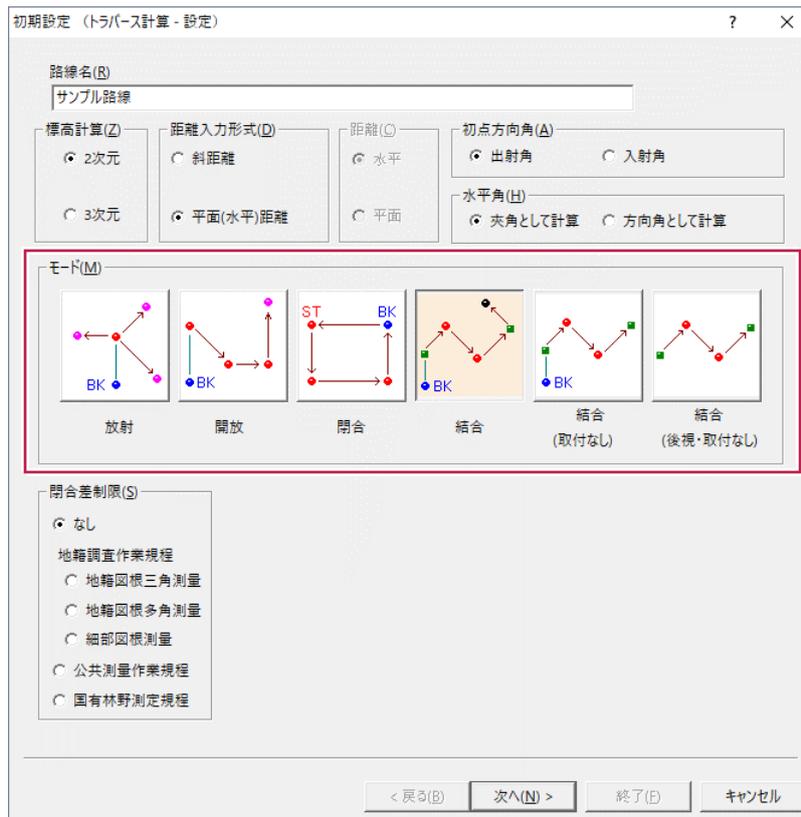
OK キャンセル

# 5 トラバース計算

トラバース計算の新機能をご紹介します。

## 5-1 観測データの初期設定の改良

イメージの追加や、初点、後視点などのコントロール配置を見直し、全体的にわかりやすくしました。



# 6 縦横断測量

縦横断測量の新機能をご紹介します。

## 6-1 [横断測量]—[電子野帳データ一括取込み]の改良

取り込んだ野帳データを保持して、再編集や作業の中断ができるようになりました。

